

【22_290技術系メルマガ】”ただしい” 損切りの仕方

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

日頃、相場に「ただしいも間違い」もない、なんてことを言っている僕が、こんなタイトルのメルマガを書くのもおかしな話ですが(笑)

少なくとも、誰もがトレードをしていれば必ず向き合わなければならない

この『損切り』という問題については、唯一「ただしい」と言える定義がひとつあります。

それは、『常に自分の決めた規則に従って一貫する』ことです。

これもまた、自分のこれまで積み上げた検証とテストの結果に沿って決めるものなので
方法論として「絶対的にただしいやり方」は存在しません。

あるとすれば、その決めごとで『自分が納得できる』かどうか。これがすべてと言っても良いです。

その点を考えれば、僕にしてみれば『利確』はもっと簡単な理屈で決めているのですが

それはまた別の機会に、希望者が多ければ別途メルマガのテーマとして扱おうと思います。(メールください 笑)

さて、話を戻して

それでは、僕(クロ)の場合、その損切の置き方とはどんな基準で決めているのか？

それほど複雑ではないし、文章にしまえばすぐなのですが(笑)

クローの損切基準ってなに？

それは

自分の『執行足』を基準として見る『MAもしくはパターン』を一定の条件で否定された場合です。

例えば、M1足のチャートパターンに分解してエントリーした場合は

その形成パターンが否定されたとき。

M15、M5足でお馴染みのMAに同時接触したことが根拠でエントリーしたのなら

そのMAを突破された(されると見込まれる)とき。

若しくは、両方を重ねて根拠としている場合もあるので

パターン否定+MA突破のダブル根拠崩壊によってロスカットというのが、僕としては一番納得度が高いです(笑)

ですので、出来れば意識するMAのギリギリまで引き付けつつ、その周辺で出来るM1足のパターンも確認できる

というのがセットアップとしては理想的な条件だし、それを見つけたら

上位環境が劣悪でもない限りは、積極的に勝負しに行きます。

これが、僕の『ストップを最小化し、リスクを抑えてコントロール』する秘訣でもあるのですが

みんながみんな、これをマネして出来るわけではないでしょう。

ですので、多くの方がやられているような、『パターンの完成を見てエントリー』という考え方も

僕は凄く良いと思っています。

ただし、そのやり方でトレードをするのであれば、僕のように数pipsの損切り設定などということをしてしまうと

あっさりロスカットされてしまいます。

どこでトレードするにせよ、最初に言った『自分が損切りをする条件』で規定した通りの損切幅をちゃんと設定しないとイケません。

それを端的に説明したのが、以前のツイートに残っているので載せておきます。

▼参考: 損切り幅の設定について▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1580738468837490689?s=20&t=OZ2WzC1brFOaT9ewDNkvAQ>

早く仕掛ける事によって生じるリスク、待って仕掛けることによって生じる別のリスク

いずれにしても、自分がエントリーする以上はそこに『リスク』が生じることは避けようがありません。

それを、どんな形で自分が受け容れるのか？ここにも自分なりの一貫性と、十分な母数を背景とした覚悟を持つことが必要ですね。